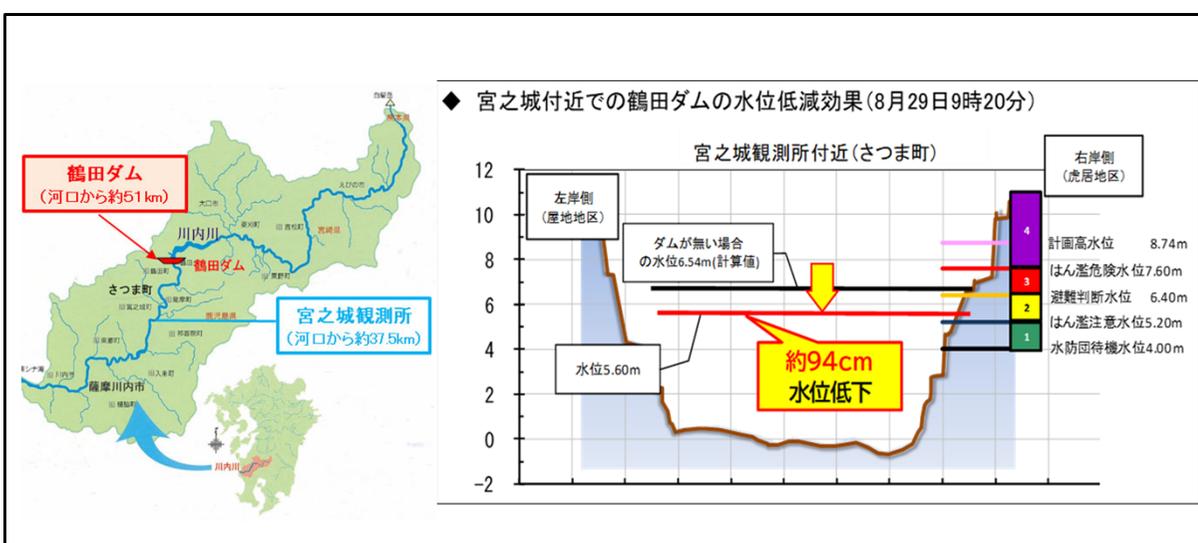
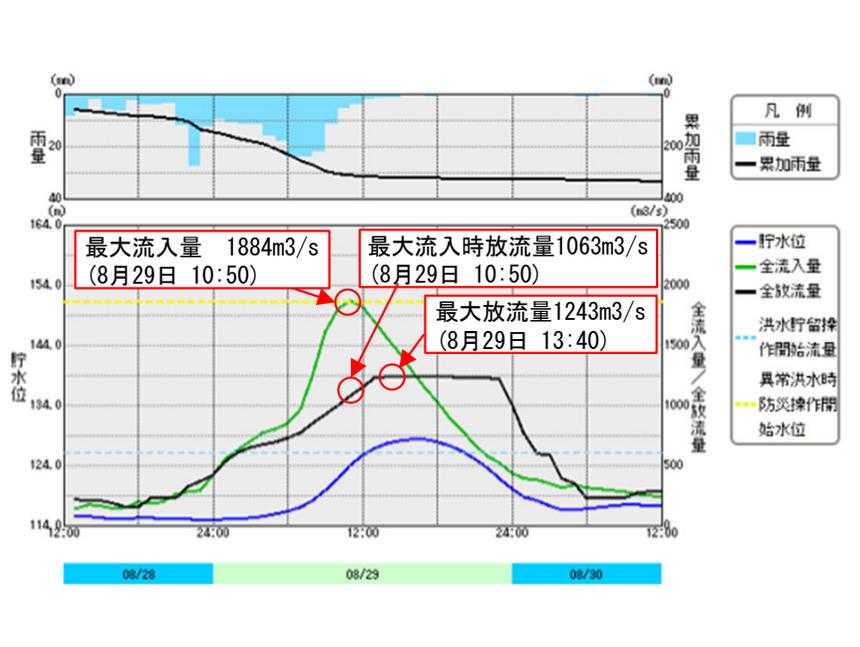
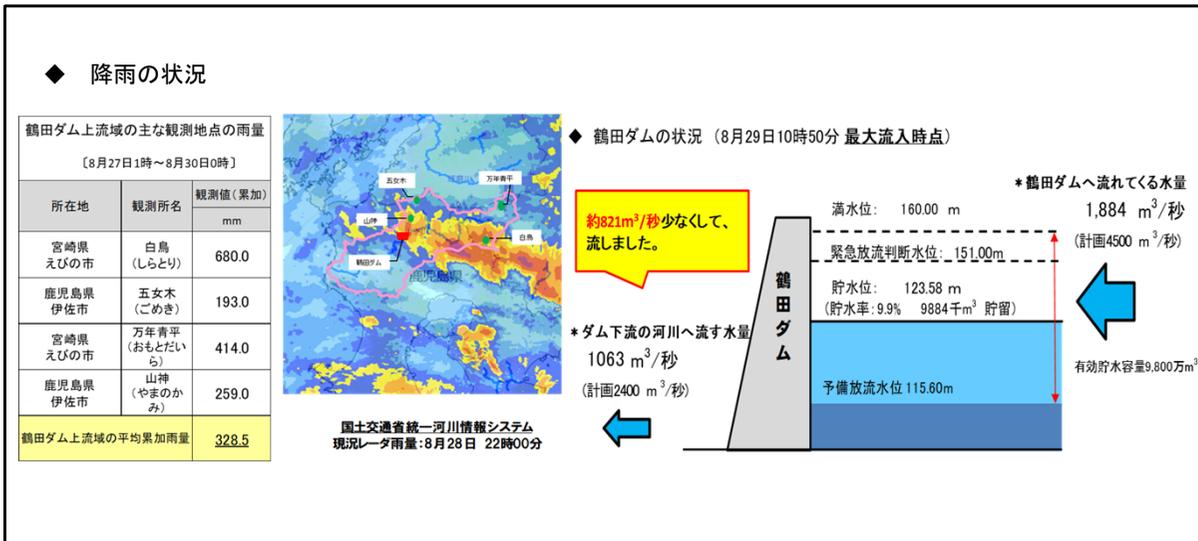


# ○. 防災操作の効果 鶴田ダム(川内川水系川内川)

- 台風10号に伴う豪雨により、鶴田ダム上流域において、8月27日～8月29日までの総雨量は328mmを観測しました。
- 鶴田ダムでは、29日1時50分より、ダムへ流れ込む水量の一部を貯める「洪水調節」を行いました。
- ピーク流入量は約1880m<sup>3</sup>/sを記録しその際ダムにより約820m<sup>3</sup>/sを貯留して下流河川の増水を緩和しました。
- 鶴田ダムが無かった場合の宮之城水位観測所の水位は、避難判断水位(6.40m)を上回る6.54mに達していたと想定されダムの洪水調節によって約0.94m水位を低下させたと推定されます。



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります